



ya!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



▲コンポストを試作しているバコ村住民への技術指導



▲バコ村住民に茂木町の環境行政を紹介した環境教育セミナー



▲バコ村小学校で茂木町の小中学校の環境活動を紹介



▲北クチン市役所担当者(右)からコンポスト容器がバコ村リーダー(左から2番目)に寄贈されました

草の根技術協力事業でマレーシアに専門家派遣

昨年5月にスタートした「JICA 草の根技術協力事業～マレーシアにおける家庭廃棄物削減」の第2回専門家派遣が2月16日(土)～23日(土)の8日間実施され、茂木町、TIA、JICA 栃木デスクから計4名がマレーシア・サラワク州クチン市のバコ村を訪問しました。

ゴミの不法投棄で汚れているバコ村はこのプロジェクトのモデル地区。昨年茂木町などでコンポスト作成技術や環境行政・環境教育を学んだ資源環境審議会(NREB)職員及びバコ村リーダーが中心となり、現況を改善するためのアクションプランとして、今回の専門家派遣に合わせて、同村住民対象の環境教育セミナーを企画しました。茂木町から派遣された2名の専門家は、大人向けのセミナーでは同町の環境行政を、小学生向けのセミナーでは小中学校の環境活動を説明しました。参加した住民たちは、茂木町の環境保護に対する積極的な姿勢から多くのことを学ぶことができました。その他、専門家はコンポストを試作しているバコ村の家庭を訪問し、より良いコンポストの作成方法を指導しました。

今回のセミナーの開催に当たり、バコ村を管轄する北クチン市役所から大きなコンポスト容器が同村に寄贈されました。今後はこの容器を活用したコンポスト作成が進んでいくことが期待されています。

2013年6月号

No.123

Summer

◆ようこそとちぎへ 平成25年度栃木県国際交流員 徐慶雲さん(中国)
◆国際交流団体紹介 佐野ユネスコ協会
◆新理事長・新事務局長ごあいさつ 入内澤理事長 黒川事務局長

「国際理解教育実践セミナー」

国際理解教育の担い手を育成する国際理解教育実践セミナー「やさしく学ぶ“異文化コミュニケーション”」を、講師に桜井・法貴グローバル研究所代表の桜井高志氏を迎え、3月9日(土)とちぎ国際交流センターで開催し、25名が参加しました。

異文化コミュニケーションとは「日本人・外国人を問わず、文化的な背景が異なる人たちの間のコミュニケーション」のことです。参加者は、「隣の人は何%同じ文化を持っているか」、「日本人である条件とは何か」、「ジェスチャーでコミュニケーションをどうやるか」、「トランプゲームで異文化を体験する」、「外国人の困っていることをロールプレ



▲トランプゲームで異文化を体験(中央が桜井氏)

イングなど多彩なアクティビティを通して、異文化間のコミュニケーションの難しさや、異文化を理解するためのポイントなどを楽しく学ぶことができました。

「日本語ボランティア情報交換会」

外国人にボランティアで日本語を教えている方を対象とした「日本語ボランティア情報交換会」(年2回開催)をとちぎ国際交流センターで、平成25年3月22日(金)に開催しました。講師は、前回に引き続き、宇都宮大学や国際交流基金日本語国際センターで講師を務める八重島^{あづき}炎氏。この情報交換会は、日本語の教え方の講義を「聞く」場ではなく、「自分で考えて答えを出し、グループで共有する」というスタイル。今回は、助詞の「は」と「が」の使い分けをテーマに行いました。

講師の出す例文やヒントをもとに、参加者は文法的な規則をグループで話し合いながら一つずつ整理しました。多くの参加者から「普段何気なく使い分けをしている『は』と『が』の違いがはっきりわかった」との声をいただきました。このほか、講師から日本語教室での教え方の工夫などの紹介も行われました。



▲八重島先生のリードで和やかな会となりました。

「相談員・通訳協力者実務研修会」

3月23日(土)、平成24年度第2回相談員・通訳協力者研修会が国際交流センターで開催され、TIAの通訳協力者や相談員など21名が参加しました。東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターの内藤稔氏を講師に迎え、「コミュニティ通訳の意義と役割」という題でご講演を頂きました。メモリーエクササイズなどの演習も行われ、通訳技法のトレーニング方法も学びました。また、質疑応答では、参加者から実際に通訳として活躍されている内藤先生への質問がとびかいました。



▲演習を行う参加者と内藤先生

講演後には交流会が行われ、通訳をしていて良かったことや困ったことについて、活発な意見交換がなされました。日ごろの課題を共有することができ、大変有意義な研修会となりました。

防災訓練「多言語翻訳シミュレーション」

今年で2回目となる、栃木県内の市町国際交流協会との連携による防災訓練「多言語翻訳シミュレーション」を3月12日(火)～14日(木)に実施しました。

このシミュレーションは、地震などの災害時に発信される行政情報を外国人にさまざまな言語(やさしい日本語も含む)で提供するために翻訳するという内容。直下型地震でさくら市が被災したと想定し、同市に設置された「災害多言語支援センター」からの翻訳要請で、TIAと県内市町国際交流協会がそれぞれ翻訳協力者を募り、同センターから送られた原稿(地震の状況、給水所開設・交通・停電のお知らせ、応急危険度判定についてなど)を翻訳しました。

今回の翻訳訓練には、ポルトガル語5名、スペイン語5名、中国語9名、タガログ語2名、タイ語2名、英語10名、マレー語1名、アラビア語1名、ドイツ語1名、韓国語1名、やさしい日本語11名の計11言語、48名が参加しました。

県民外国語講座「ゼロからはじめる中国語」

TIAの県民外国語講座として、平成25年2月23日～3月23日までの毎週土曜日13:30～16:30まで、初めての方を対象とした1か月の短期集中型講座「ゼロからはじめる中国語」(全5回)を開催しました。講師は中国ハルビン市出身の山口信子氏。受講者は12名。

今回の講座は1回の時間が3時間と長いため、講師は発音からフリートーク、歌やゲームまで幅広く、毎回飽きさせない内容で中国語の楽しさを教えました。特に、フリートークの場面では、

受講者から、「こんなときはどういうの?」という質問が、毎回飛び出し、普通のテキストには出てこない表現なども同時に習得するなど、受講生の中国語学習に対する熱心さも垣間見られました。

また、閉講式では、講師との記念撮影なども行い、終始和やかな雰囲気最後まで、先生と中国語での会話を楽しんでいます。



▲中国語の発音のコツを熱心に指導する講師の山口先生

ようこそとちぎへ WELCOME TO TOCHIGI

平成 25 年度栃木県国際交流員(中国)



徐 慶雲さん(29 歳)

栃木県の友好交流先である中国浙江省の省外事弁公室で主に日本との交流を担当していた。今年の 4 月から来年 3 月まで県国際課で国際交流員として勤務する。出身は山東省濰坊市。

—はじめまして。日本語がお上手ですね。

いいえ。まだまだです。日本語は北京にある清華大学外国語学部で日本語を専攻しました。大学院でも日本語言語学を専攻しましたので、全部で 7 年間学びました。さらに大学 3 年の時には大学の交流提携先である岩手大学に 1 年間留学するチャンスをを得て日本での留学生生活を体験しました。そのことが、日本語に対する自信と今後日本語を使った仕事をしてみたいというきっかけになりました。卒業後は公務員になりたかったので、日本語ができる人を募集していた浙江省外事弁公室に就職しました。この仕事を始めて 4 年たちますが、この間に日本の友好交流先である静岡県、福井県そして栃木県にも出張で通訳として来たことがあります。

—そうなんですね。栃木県の印象はいかがですか。

来日直前まで杭州市にいましたが、32 度もあり暑かったので、日本も同じだと思ってましたが、栃木に来てみたら、涼しくて驚

きました。栃木は気候がよく、暑くもなくとても過ごしやすいと思います。留学していた時は盛岡に滞在していたので、盛岡との比較になりますが、宇都宮の町並みはとてもきれいだと思います。少し道を歩いていると、日本の感覚がだんだん戻ってきたような気がします。

—今後の抱負を聞かせてください。

今回の来日は学生時代の留学とは違うので、日本の社会や仕事をするうえで役に立つことをいろいろ学んでいきたいと思っています。それと同時にいろいろなところへ旅行したいと思っています。岩手大学に留学していた時は、北海道や東北の旅行はしたので、今度は県内や関東周辺をあちこち見て回りたいと思っています。日光にまだ行ったことがないので、ぜひ行ってみたいです。

特に、日本の地名の読み方は難しいので、旅行しながら覚えたいと思います。また、浙江省ではなかなか得ることができない栃木の生きた情報を覚えて伝えていきたいと思っています。それから、人々との交流が大切だと考えているので、できるだけ多くの人、子どもから大人まで幅広く交流したいと思っています。



▲中国雲南省昆明市にある石林で

国際交流団体紹介

「佐野ユネスコ協会」

栃木県南部に位置する佐野市に「佐野ユネスコ協会」が誕生したのは、1973 年 5 月 13 日で、「地球にみどりと太陽を！一人間と自然調和の中から新しい文化を創造しようー」は今も変わらぬスローガンとなっています。

当初のメンバーには、元市民合唱団の団員とこれを機会に結成された少年少女合唱団の児童と父兄が中核となって会員を募り、創立時には 300 余人を擁してのスタートとなりました。

初めの 10 年くらいは市民の方にユネスコを広く知ってもらうために啓蒙活動として、各種の集会、講演会、音楽会など無我夢中で取り組んだことが懐かしく思い出されます。

そうした中で財政の健全化は常に心がける必要がありました。

そのため、賛助会員数を維持しなければなりません。おかげさまで、多くの皆さまの協力で、比較的財政も安定してきております。

事業の面では発足から暫くは国際理解と国



▲平成 24 年 9 月 29 日開催の佐野新人演奏会に出演した皆さん

際交流が主流でしたが、国際交流協会が各地に設けられると、ユネスコ協会は、世界寺子屋運動（識字活動）と世界遺産保存運動に絞られてきました。佐野ユネスコ協会でも最近では専門委員会

制もできまして、次のような委員会が成果を挙げています。

歴史・文化活動（“天明鋳物”の伝承・保存活動、市内南・中・北部の案内マップの編集）、世界寺子屋運動の募金協力（書き損じハガキの収集—市内小・中学校参加）、音楽活動（隔年ごとに新人演奏会を開催）、市内地域の自然保存運動（野上地区の写真集発刊）。

以上のように地域文化・自然遺産を未来へと、守り伝える未来遺産運動に重きをおいての運動を進めております。

（文：事務局長 亀田宮吉）



▲40 周年の記念レセプションでダ・カーポ夫妻と一緒に歌いました。



▲新春チャリティコンサート（写真は平成 21 年 2 月 1 日実施）

新理事長 ・ 新事務局長ごあいさつ



公益財団法人
栃木県国際交流協会

新理事長 入内澤 滋夫

この度、公益財団法人栃木県国際交流協会理事長に就任いたしました入内澤です。

地域社会のグローバル化は着実に進展しており、街中などでも多くの外国人の方を見かけるようになりました。

これからの地域社会をより豊かなものとしていくためには、私たち一人ひとりが、互いに異文化を理解し、尊重して共に暮らす「多文化共生型」の地域を築いていくことが重要になっています。

当協会では、県民の皆様の国際理解の促進や、外国人の方々のための相談など各種行事を通じて、引き続き地域の国際化の推進の一端を担って参りたいと考えております。

今後とも、関係機関・団体の皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



公益財団法人
栃木県国際交流協会

新事務局長 黒川 辰美

4月1日付けで、公益財団法人栃木県国際交流協会の事務局長に就任いたしました黒川でございます。

県民の皆様の積極的な参加をいただきながら、栃木県の国際化、国際交流を推進し、地域に暮らす日本人も外国人住民の方も、楽しく安心して暮らせる多文化共生の社会づくりを実現するために、頑張ってお参りたいと思っておりますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、現在、協会では、県民外国語講座、多文化共生カレッジ、とちぎグローバルセミナーなどを開催しております。県民の皆様には、この機会に是非外国の言葉や文化に触れられ、外国人住民の方々とコミュニケーションを図りながら、国際交流や国際協力、そして多文化共生の社会づくりについて考えてみませんか。

トピックス TOPICS

JICA ボランティア募集説明会&体験談 in 宇都宮

JICA のシニア海外ボランティア・青年海外協力隊の募集説明会が4月20日(土)、とちぎ国際交流センターで実施され、シニア説明会に18名、協力隊説明会に34名と例年を大幅に上回る方が参加しました。

「開発途上国の人々のために!」「自分にも何かできるかもしれない!」という期待と希望を持って来場した参加者。JICA ボランティア制度の説明を聞いた後、ルワンダ、ケニア、ヨルダン、スリランカ、マレーシア、インドネシア、チリの7か国のブースに分かれて行った栃木県出身のボランティアOB/OGによる体験談では、仕事の様子や現地での生活だけでなく、ボランティアを経験したからこそ分かったことなど貴重な話を聞くことができました。

今回の参加者の中からも、熱い思いをもった栃木県出身のボランティアが誕生することを期待したいです。



▲各ブースでボランティアの体験談を聞く参加者

TIA バナー広告募集中!

TIA のホームページにバナー広告を掲載してみませんか? 法人賛助会員の方は、半年間、無料でバナー広告が掲載できます。詳しくは下記URLをクリック!

<http://tia21.or.jp/banner.html>

TIA 賛助会員募集

TIA では、賛助会員を募集しています。

皆さまからの賛助会費は、TIA のさまざまな事業に使わせていただき、地域の国際化に役立てています。

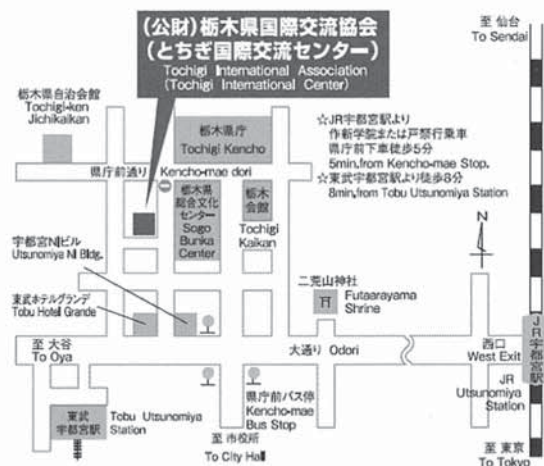
法人賛助会員にご加入いただいた企業の方々には特典として、TIA ホームページのバナー広告の掲載料を無料とさせていただきます。ぜひ TIA の賛助会員の入会のご検討をお願いします。

<会費について>

会費(年額) 法人 30,000 円 団体 10,000 円 個人 3,000 円

※TIA は公益財団法人の認定を受けており、税制上の優遇措置が受けられます。

TIA ご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30~17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日